

家康たたえる歌 軽快に

徳川時代の歴史的意義を研究、発信する「徳川みらい学会」の第7回講演会が14日、静岡市葵区の市民文化会館で開かれた。



静岡で初披露 浮世絵の解説も

江戸文化歴史検定1級の資格を持つタレントの堀口茉純さんが「浮世絵に描かれた徳川JAPAN」と題して講演。アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会が制作した徳川家康公顕彰400年の記念ソング「未来のために」も初披露された。

堀口さんは「浮世絵の中には富士山が多く出てくる」と指摘。当時は富士山と駿河国、家康が結び付けて考えられていたとし、徳川將軍家にまつわる静岡の浮世絵が数多くある背景を解説した。

記念ソングは同実行委のメンバーが作詞、作曲家南莊宏さんが作曲した。静岡混声合唱団「テラ」など約100人が、軽快なリズムにのせて家康をたたえる内容の歌を響かせた。

家康公
顕彰
400年

徳川家康公顕彰400年の記念ソングを初披露する合唱団14日午後、静岡市葵区の市民文化会館